

2. 子育て世代への的確な支援と地域を担う人づくり及び協働・交流・連携の推進

政策の基本目標

小国町の未来につながる大切な取り組みとして、子育て世代が、安心して子どもを産み、育てることができる環境の充実や、子どもたちの教育環境の向上を図り、一層子育てしやすい地域の実現を目指します。さらに、次代の小国を担う人財の育成、多様な人々がまちづくりの関わる取り組みなどを複層的に展開することにより、地域の活力を高めるとともに、選んでもらえる地域づくりに結びつけます。

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	目標値
町外からの転入者数(年間)	170人(H26)	196人(H31)
20～49歳の人口構成比	26.0%(H27)	27.1%(H31)
交流人口(観光入込客数;年間)	352,400人(H26)	400,000人(H31)
合計特殊出生率	1.55‰(H25)	2.00‰(H31)
出生数(年間)	41人(H26)	60人(H31)

講ずべき施策の基本方向

(1)結婚・出産・子育て支援の充実

関係機関等との連携を強化しながら、結婚活動の促進に取り組む一方、出産・子育てにかかる負担の軽減となる各支援策の継続と充実を図ります。

(2)小中高一貫教育の推進と特色ある教育の振興

小国町がこれまで取り組んできた小中高一貫教育をさらに推し進めることによって、「生きる力」、豊かなチャレンジ精神、国際感覚と郷土愛を育成し、まちづくりに果敢に挑戦できる、そして世界も視野に入れて活躍できる子どもたちの成長を支えます。

(3)高等学校を含めた教育環境の充実

小国町の子どもたちの学力向上を図るための学びの場や、支援の仕組みを構築するとともに、県立小国高等学校の役割を再認識したうえで、その魅力アップを目指した取り組みを充実させ、町全体で子どもたちの教育、育成を図ります。

(4)知恵と技の伝承とそれを支える人財育成

自然との関わりの中で、先人たちが育み、継承してきた、生活文化、生活技術を引き継ぎ、さらに発展させていくため、その核となる人財を育成し、いつでも学ぶことのできる環境づくりに努めます。

(5) 多様な交流の推進と新たな観光交流プログラムの展開

森林セラピー事業をはじめ、小国町の豊かな交流資源に基づく観光交流事業を展開し、多面的な交流を含めた誘客の拡大に力を注ぎます。また、外国人旅行客の誘致など、新たな交流プログラムの開発により、さらなる交流の活発化と多彩な人の流れを創造します。

(6) 若い世代を中心とした移住交流の促進と協働型交流から移住・定住を促進する仕組みづくり

「田園回帰」の動きに呼応しながら、小国町への移住を促すための取り組みとして、IターンだけでなくUターンや孫ターンなども視野に入れた多様な施策の構築と展開を図るとともに、特に若い世代を対象として、地域が求める人財の移住や、協働型交流から定住につながる仕組みづくりを進め、地域の活力向上を目指します。

(7) 新たな志(協働人口)の結集と地域づくりへの参画推進

大学生や町外の若者など、外部の人財がまちづくり、地域づくりに関わる機会の創出を通じて、小国町に共鳴・共感する多くの若者による、新たなまちづくり施策の提案や異なる視点での地域づくり活動の展開へと結びつけることにより、新たな志(協働人口)と位置づけたまちづくり体制の構築を図ります。

(8) 既存ストックの有効活用による協働・交流事業の展開

閉校施設をはじめとする既存の公共施設や空き家などの有効活用策を整理し、多様な協働・交流の拠点、さらには暮らしの場としてその活用を推進します。

(9) 地域づくりと経済・環境の好循環の創出

地域資源に光を当てた地域づくりの展開において、その保全を図ることによって継続につなげていくとともに、さらにはそれが付加価値を生み小さな産業に進化する、地域で経済循環に結びつく仕組みづくりに努めます。

具体的な施策の内容

(1) 結婚・出産・子育て支援の充実

① 結婚活動に対する支援

結婚を望む人への情報提供の充実を進めるほか、民間団体等で取り組む出会いの場の創出に対する支援、広域で展開している婚活支援事業への参画、情報発信など、継続的な取り組みを推進します。

【個別の取り組み】

- やまがた出会いサポートセンターへの参画と情報提供の充実
- 広報、HP等の情報発信強化によるやまがた出会いサポートセンター登録促進
- 町内で取り組まれる婚活事業への支援
- 広域的婚活事業への参画

②出産・子育てにかかる負担の軽減

子育て家庭における出産・子育てにかかる経済的負担を軽減するための取り組みを継続して進めるとともに、子どもを産むまでの不安感や子育ての負担感の緩和に向けた支援の充実を図り、出産・子育てしやすい環境を確保します。

【個別の取り組み】

- 妊婦出産支援事業の推進
(妊婦健康診査助成、出産支援金の交付、特定不妊治療費助成)
- 保育料の軽減
- 一人親家庭への支援
- 教育における新たな負担軽減策の推進
- 出産・子育てに関する相談事業の充実

③子育て支援のネットワーク化の促進

小国町の子どもを社会(町)全体で大切に作る心を中心に、子育て支援体制の充実を進め、多様な子育て事業の取り組みに努めます。また、子育てに希望を持てる環境づくりに向け、子育て家庭のニーズに的確に対応した保育サービスの提供を図ります。

【個別の取り組み】

- 子育て支援センター事業の充実
- 母子保健体制の強化
- 子どもの遊び場の提供
- 特別保育事業の推進
- 保育施設の改修・整備
- 食育事業の展開

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
やまがた出会いセンター登録者数	2人(H27)	17人(H31)
対象人口当たり相談件数(年間)	2.3件(H26)	3件(H31)
子育て支援センター事業参加件数(未入园児1人当たり;年間)	27.2回(H26)	30回(H31)

(2)小中高一貫教育の推進と特色ある教育の振興

①小中高一貫教育の促進

「おぐにスタンダード」「国際・情報」「白い森学習」を柱とする小中高一貫教育を継続し、小国町が誇る学校教育システムとして広く発信しながら、まちづくりに貢献できる心豊かで創造性に富む人財の育成を通じ、子どもたちの未来の可能性を広げる取り組みを目指していきます。

【個別の取り組み】

- 小中高一貫教育の推進

②地域の多様な力による心豊かな子どもの育成

子どもたちの健やかな成長と豊かな感性の育成にとって、地域の多様な力が重要な役割を果たすため、地域と子どもたちが関わることのできる環境の充実を図る一方、地域と学校が持っている教育的資源の有効活用を進め、小中高一貫教育とあわせ地域全体で子どもたちを育む体制を構築します。

【個別の取り組み】

- 放課後子ども教室事業の推進
- 学校支援地域本部の展開
- コミュニティスクールの展開
- 保育園での英語ふれあい事業の推進
- 学校給食費負担軽減策の構築

③ICTを活用した学習プログラムの開発

小国町が進める小中高一貫教育において、「国際・情報科」の取り組みを展開していることから、情報教育を核として電子黒板機器などのICTを積極的に活用した学習プログラムによる教育の推進を図ります。

【個別の取り組み】

- ICT教育の推進と機器の整備
- 学校用・校務用コンピューターの整備

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
小国町を好きな中高生の割合	79.4%(H27)	80%(H31)
中高生の地域活動への参加率	19.8%(H27)	40%(H31)
ICTの活用頻度(年間の授業時間の割合)	5%(H27)	30%(H31)

(3)高等学校を含めた教育環境の充実

①学力向上対策の推進

小国町の子どもたちの学力をさらに伸ばすための支援を推進するとともに、子どもたちが生き生きと学び、活動できる環境の充実を図ります。

【個別の取り組み】

- 学力向上支援員の設置
- 読書活動支援員の設置
- 教育相談員、学習支援員の設置
- スクールバスの運行
- 教育施設等の改修・整備

②小国高等学校の魅力づくりへの支援

県立小国高等学校は、小国町の教育また小中高一貫教育において、極めて重要な位置づけであることから、町外からの入学者を拡大する新たな取り組みなどを含め、さらなる魅力づくりへの支援を進めます。

【個別の取り組み】

- 小中高一貫教育の推進[再掲]
- 小国高等学校の新たな魅力づくりの推進
- 県等と連携した奨学金返還支援制度の創設

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
白い森学習支援センター利用者数(年間)	300人(H27)	400人(H31)
小国高校における町外出身生徒数	14人(H27)	30人(H31)

(4)知恵と技の伝承とそれを支える人財育成

①生活文化・生活技術の継承と発展に向けた人づくり

小国町で、人々が豊かな自然と鮮やかに移ろう四季の変化をうまく生かし、自然の条件に歩調をあわせながら持続的な生活を続けてきたことが、小国町の大切な生活文化・生活技術の継承につながっています。これをさらに次代に引き継ぐため、これまでの取り組みをさらに前進させるとともに、自然学習活動を通じてその発展を支える人財の育成を図るネイチャリングタウン構想の実現を目指しながら、小国町的生活文化・生活技術を広く発信する仕組みを構築します。

【個別の取り組み】

- 地域学講座の開設
- 手仕事・技伝承事業の推進
- 生活文化、伝統文化とアート活動との連携
- 「小国の知恵と技マイスター(仮)」認証制度の創設
- マタギ文化伝承者育成事業の推進

②町民の主体的な学び

町民の主体的な学びの場の充実を図り、精神的な豊かさの実感や生きがいづくりとあわせ、地域文化の継承にも結びつけていきます。

【個別の取り組み】

- 生涯学習講座の開設
- 文化振興事業の推進
- 生涯スポーツの推進
- 生涯学習施設等の改修・整備

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
『小国の知恵と技マイスター(仮)』認定者数	-	5人(H31)
地域文化・技術を学ぶ講座・イベントの参加者数(年間)	138人(H26)	200人(H31)

(5) 多様な交流の推進と新たな観光交流プログラムの展開

① 地域資源を活用した観光交流の促進

飯豊・朝日両連峰や森林セラピーなど、小国町の自然資源や文化資源等を材料とした観光交流の取り組みを促進させるため、現在展開している交流イベント等に加え、各地域における交流事業との有機的なつながりを構築します。そのため、各イベント主催団体等によるプラットフォームづくりを進め、協働と連携による取り組みと発信力の強化を図ります。

【個別の取り組み】

- 森林セラピーの推進
- おぐに夏まつり・石楠花まつりの開催
- 観光キャンペーンの推進
- イベント支援団体連合の創設¹⁾

② インバウンドも含めた新しい交流プログラムの推進

雪等これまで交流資源として活用していなかったテーマの掘り起こしや磨き上げを図り、外国人旅行者を対象とした新たな交流等の取り組みを進めます。一方、農山村のさらなる魅力づくりに力を入れながら、都市部との交流の深化、さらにはその共生につなげます。

【個別の取り組み】

- 外国人旅行者受け入れ体制の整備
- 置賜地域の広域連携による観光交流プログラムの展開
- 山岳資源を活かした交流の推進
- 町内中核企業を通じた国際交流の推進
- 観光交流推進計画の策定

③ 交流基盤の整備

各交流施設等小国町での交流を支える基盤の適切な管理運営を促進し、その機能の充実に努めます。

【個別の取り組み】

- 各交流施設の改修・整備
- 道の駅機能の充実・強化
- 外国人旅行者への対応を含めた小国町サイン計画の推進
- 自然を活かした新たな交流機能の整備²⁾

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
森林セラピーツアー参加者数(年間)	441人(H26)	1,000人(H31)
外国人ツアー旅行者数(年間)	128人(H27)	300人(H31)
交流施設利用者数(年間)	25,600人(H26)	40,000人(H31)

(6) 若い世代を中心とした移住交流の促進と協働型交流から移住・定住を促進する仕組みづくり

① 移住、交流居住の推進

移住者の相談体制や受け入れ体制の整備など、移住、交流居住の推進を図るための取り組みに努めます。とりわけ、若い世代や子育て世代の移住促進を中心としながら、体験プログラムや地域との交流などを通じて、移住と交流居住の拡大を目指します。

【個別の取り組み】

- 移住交流の推進
- 子育て世代移住者の住宅支援
- 移住者(予定者)と地域との交流事業の展開
- 多様な媒体を通じた魅力の発信³⁾

② Uターンの促進¹⁾

移住交流の取り組みとして、Iターンの促進とともに、Uターンを積極的に展開するとともに、小国町出身者の関係者に対する情報発信を積極的に展開し、「孫ターン」など新たなタイプの移住に結びつけます。

【個別の取り組み】

- Uターン情報の発信
- 県等と連携した奨学金返還支援制度の創設[再掲]

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
移住相談件数(年間)	0件(H26)	10件(H31)
奨学金返還支援制度の利用者数	-	8人(H31)

(7) 新たな志(協働人口)の結集と地域づくりへの参画推進

① 外部人財による地域づくりの促進

まちづくりにおいて外部人財の役割が重要であることから、引き続き、「緑のふるさと協力隊」や「地域おこし協力隊」の活用を含め、町外の若者が参画できる環境の整備を図り、地域づくりの展開や集落支援の体制づくり等を進めることにより、多様な主体が関わる協働・交流・連携を核とした地域づくりを推進します。

【個別の取り組み】

- 「緑のふるさと協力隊」の受け入れ
- 「地域おこし協力隊」による地域づくり支援員の設置
- 小国ファンクラブの創設⁴⁾
- ふるさと納税を活用した地域づくりや文化継承の取り組みの推進

②大学機関との連携推進

町外の若者が小国町や地域に関わる取り組みとして、これまで大学機関等との連携を進めており、今後もその強化を図りながら継続的な活動につなげ、町民との交流を深めた協働の力の発揮を目指します。

【個別の取り組み】

- 域学連携事業の推進
- 大学機関等との連携協定の締結推進

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
地域づくり支援員設置数	0人(H26)	6人(H31)
大学機関等との連携協定数	0件(H27)	2件(H31)

(8) 既存ストックの有効活用による協働・交流事業の展開**①既存施設の活用促進**

既存の公共施設等を拠点とした地域づくりに関わる協働・交流活動を進めることにより、その有効活用を図るほか、施設の機能統合を含めた適正な管理に努めます。

【個別の取り組み】

- 閉校施設の利活用・管理運営の推進
- 既存施設を活用した地域づくり事業の展開
- 公共施設管理計画の策定

②空き家対策の推進

増加している空き家について、現状把握を行いながら老朽化への対策を的確に講じるとともに、住宅ストックとしての活用を図ります。

【個別の取り組み】

- 空き家対策の推進
(空き家対策協議会の設置、空き家対策計画の策定)
- 空き家活用に対する支援

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
旧小中学校施設の利用指数	9.3日/人(H26)	10日/人(H31)
空き家の有効利用件数	0件(H27)	3件(H31)

(9) 地域づくりと経済・環境の好循環の創出

① コミュニティビジネスの推進⁵⁾

地域内で経済が循環するシステムを構築するため、地域づくりとの連動による、地域資源の発掘、保全、磨き上げ、利活用というプロセスによる新たなコミュニティビジネスの推進を図ります。

【個別の取り組み】

- コミュニティビジネスに関する研修会の開催
- コミュニティビジネスコンテストの実施
- 地域資源保全活用型ビジネスへの支援

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
新たなコミュニティビジネスの取組件数	-	3件(H31)

総合戦略策定メモ

* 小国町地域創生総合戦略策定懇話会で提案された取り組み～

- 1) 各地域・団体等のイベントを相互に支援する仕組みの構築(人の流れ創造部会) ----- p17
- 2) アスレチック等自然を活かした遊びの空間づくり(人の流れ創造部会) ----- p17
- 3) YouTubeなどを活用した発信方法(結婚・出産・子育て部会) ----- p18
- 4) 経済効果にもつながる人のつながりの仕組みづくり(人の流れ創造部会) ----- p19
- 5) コミュニティビジネスが展開できる環境の整備(人の流れ創造部会) ----- p20

** 住民等意識アンケートの結果から～

i) 「必要な移住交流対策」との質問に対する回答で、「町出身者へのUターンの積極的な働きかけ」が高い割合となっています。 ----- p18

